

師の作佛多し。昔は諸橋の郷に寺領あり。中頃頼朝卿三ヶ村を寄附ありしと、此寺観音堂再興狀に在り。其頃は太刀置にて、今に十町の間礎等その儘残りあり。今に畠山重忠の寄進の石燈籠、梶原景時の寄附の太石の分水鉢あり。頼朝卿其外將軍家の墓所あり。境内廣し。大石塔多くあり。寺中に明星の池・明星の石とてあり。謂あり。」とあり、寶永一覽記には、「觀音堂の前なる分水鉢は梶原が寄進といふ。長さ七尺餘、幅五尺足らず、石舟の様な鉢なり。」と見える。明泉寺と頼朝との關係は明らかでないが、或は世に東鑑建長二年十二月十三日・三年五月十四日十五日廿七日等の條に載せられて、北條時宗生誕の祈禱とその日時を言ひ當てた功により、能登國諸橋保を與へられた鶴岡若宮八幡別當隆辨を、先に明泉寺の僧であつた如くに誤つた説があり、能登志微にも「此隆辨僧正は則此明泉寺の先住にて、今其位牌存せり。」といふ通り、いつしか位牌までも作られることになつたので、それから頼朝・景時・重忠まで幻想が延長せられたものでないかと思はれる。今寺藏に木造上品上生阿彌陀如來座像体高三米七三厘のもの、及び木造釋迦如來座像体高三米三八厘のものがあり、前者の頭胸腹部と後者の頭部前面は平安朝初期の作と認められ、萬延元年宇出津の大工吉村伊助の後補に係る。外に同時代の佛像殘缺二軀及び室町末期と認められる紙本着色の明泉寺繪圖がある。

ミヨウセンジ 明専寺 羽昨郡森本に在つて、眞宗東派に屬する。

ミヨウセンジ 明専寺 羽昨郡森本に在つて、眞宗東派に屬する。

ミヨウセンジ 明専寺 羽昨郡菅原に在つて、眞宗西派に屬する。山號は菅原山。

ミヨウセンジ 妙専寺 羽昨郡代田に在つて、眞宗東派に屬する。

ミヨウセンジ 名船寺 鳳至郡名舟に在つて、眞宗西派に屬する。

ミヨウセンジ 明千寺 鳳至郡諸橋郷に屬する部落。邑名は明泉寺があるに因る。天文元年七月諸橋六郷南北棟札注文に「百七十六間諸橋本郷、此内廿九間明千寺」とあるから、もと諸橋本郷の枝村である。

ミヨウセンジガハ 明千寺川 鳳至郡明千寺領山から流出し、前波領で海に注ぐ。流程三軒許。

ミヨウソウジ 妙相寺 鳳至郡輪島に在つて、日蓮宗に屬する。慶長三年日玩の創立に係る。

ミヨウタイジ 妙泰寺 金澤高道町に在つて、大谷山と號し、日蓮宗に屬する。慶長十五年日仁の建立。元和元年宇喜多秀家の女理松院を拜り、玉泉院夫人より其の莊田大衆免村二反の地を賜はつて寺領としたが、寛永六年に召上げられた。

ミヨウダツジ 明達寺 石川郡北安田に在つて、眞宗東派に屬する。

ミヨウダニ 明谷 能美郡風嵐の部落から西南に當る豁谷で、その水小又谷のそれに合し、牛首川に注ぐ。

ミヨウチン 妙珍 日蓮宗の僧。永仁中日像北地に遊化して、河北郡直江谷の車村に憩うた時、邑主井家某教を受けて門闕となり、法蓋を寶乘院淨蓮と呼ばれた。その妻妙祐、延元三年(曆應元)に伽藍を起して日像休息の遺址を表し、妙珍を屈請して開山たらしめた。これ即ち妙珍山寶乘寺である。妙珍は興

國五年(康永三)八月朔日を以て寂した。

ミヨウチンソウコウ 明珍宗好 通稱徳兵衛。江戸に至り、明珍宗妙に曹工の業を學び、その氏を曹すことを許され、寛政の頃金澤に來りて三人扶持を受けた。二代徳兵衛宗春を經、その子徳三郎又は源兵衛宗久は幼にして孤になつた爲、嘉永五年江戸に上り明珍家に就いて學んだ。宗春・宗久は共に凡工であつた。

ミヨウチンソウシユ 明珍宗修 大聖寺の人。桂氏。通稱治郎兵衛。江戸に出で、曹工の業を明珍宗治に學び、安政四年五月その氏を曹すことを許され、後歸藩して扶持を受けた。明治十四年四月歿、四十九歳。

ミヨウテンジ 妙典寺 金澤野田寺町に在つて、正榮山と號し、日蓮宗に屬する。天正十三年日敬之を越中高岡に建立し、神保氏張の室これに資を給した。慶長十四年三輪長好前田利常に請うて之を金澤河原町に移し、元和元年今の地に轉じた。

ミヨウデンジ 明傳寺 鹿島郡井田に在つて、眞宗東派に屬する。初め本郡尾崎村に在つたが、正保中今の地に移つた。

ミヨウドウユウトン 明堂雄嶽 石川郡曹洞宗大乗寺二十三代の住持。福州光智の法嗣。寛文八年五月十八日寂。

ミヨウトクジ 妙徳寺 江沼郡小植に在つて、眞宗東派に屬する。明治十三年五月の草創に係る。

ミヨウフクジ 妙福寺 金澤野田寺町に在つて、永隆山と號し、日蓮宗に屬する。慶安二年寶成寺八代本覺院日譽の創立に係る。

ミヨウフクジ 妙福寺 羽昨郡三明に在つて、眞宗西派に屬する。

ミヨウホウイン 明寶院 金澤成瀬町に在つて、天台宗に屬する。初め石川郡廣岡の本山派修験であつたが、後田町に移り、明治四年今の地に轉じ、五年修験を廢せられたるを以て天台宗に歸した。

ミヨウホウインリヨウ 妙法院領 京都妙法院門跡領に能美郡南北白江庄・石川郡押野庄のあつたことに就いては、康永三年七月の文書がある。

ミヨウホウザン 妙法山 石川郡の東南境に在つて、飛騨に跨る。高さ一七七六米。地質石英粗面岩。登路は中宮から二三軒。

ミヨウホウジ 妙法寺 金澤野田寺町に在つて、大蓮山と號し、日蓮宗に屬する。天正元年前田利家の姪で、篠原出羽一孝の内室であつた松齡院の建立で、顯成院日榮を寺主とした。初は枯木町に在り、後廢地を變へて終に今の地に轉じ、附近に同名の寺院あるを以て、坊間に之を大鼓妙法寺といふた。

ミヨウホウジ 妙法寺 金澤沼田町に在つた日蓮宗で、寶塔山と號した。寛永九年本院日照之を創立し、附近別に妙法寺あるを以て、坊間に會津妙法寺といふたが、明治中同町安立寺と合して妙安寺となり、昭和申更に桃畠町の本光寺に合流して立正寺と改めた。

ミヨウホウジ 妙法寺 羽昨郡太田に在つて、日蓮宗に屬し、康正元年日質の再建といふ。

ミヨウホウジマ 明法島 石川郡中村郷に屬する部落。

ミヨウホウソテツ 明峰素誓 曹洞宗の僧。加賀の人で富樫氏より出た。始め教院に刺染